

Grid for entering the exam number.

Grid for entering the exam number.

解答紙

(4枚のうち1枚目)

[1] (30点)

(1行20字)

[1]の採点

Blank box for marking the score for question [1].

1世紀頃、ギリシア人商人らが紅海を経てインド洋に進出し、季節風を利用する交易でローマの金貨と東南アジアの香辛料などを取引した。こうして海の道が成立し、エチオピアのアクスム王国、南インドのサータヴァーハナ朝、メコン下流域の扶南などが栄えた。4世紀以降、交易の拡大に伴い東南アジアのインド化が進み、仏教やヒンドウー教が広まった。8世紀以降、ダウ船を用いたムスリム商人がインド洋に進出し、宋代には中国人商人もジャンク船を用いてインド洋にいたって大量の陶磁器を輸出した。アフリカ東岸のマリンディなどの海港都市ではムスリム商人が居留地を設け、内陸部からの奴隷・金などをイスラーム世界に供給した。現地ではバントウ文化とムスリム文化が融合したスワヒリ文化が成立した。13世紀にモンゴル帝国の繁栄のもとで内陸の交易路と海の道が結合し、インド洋ではムスリム商人の活動が活発化して東南アジアのイスラーム化も始まった。紅海方面ではマムルーク朝の保護を受けたカーリミー商人がイエメンのアデンなどでインド商人から受け取った香辛料などをヨーロッパに供給した。15世紀末にヴァスコ＝ダ＝ガマが喜望峰をへてインド洋にいたる航路を開拓すると、ポルトガルがインド洋に進出するようになり、インドのゴアやマレー半島のマラッカを拠点として香辛料貿易を独占した。17世紀にはオランダがこれに代わり、イギリス東インド会社はインド進出を本格化させた。

100字

200字

300字

400字

500字

600字

(句読点も1字として数える。英数字は2字で1マスを用いること)

--	--	--	--	--

--	--	--	--	--

## 解答紙

(4枚のうち2枚目)

〔2〕 (40点)

問 1	(1)	アウグスティヌス
	(2)	マニ教

問 2	③
-----	---

問 3	(1)	カトリック教会の教皇レオ10世は、ローマのサン＝ピエトロ大聖堂修築資金を調達するため、ドイツで贖宥状の販売を許可した。人はみな罪を背負っているが、教会は教皇が発行するこの証書を買えば罪が赦されるとした。
	(2)	カルヴァン
	(3)	ピューリタン (清教徒)

問 4	④
-----	---

問 5	(1)	義和団
	(2)	扶清滅洋

問 6	(1)	劉邦
	(2)	紀伝体

〔2〕 問1～  
問6の採点

--	--

30

歴史総合・  
世界史探究

令和7年度入学試験問題

受験番号  
[ ] [ ] [ ] [ ] [ ]

受験番号  
[ ] [ ] [ ] [ ] [ ]

# 解答紙

(4枚のうち3枚目)

30

[2]

問7	(1)	大韓帝国
	(2)	賠償金が得られず、増税や人的な犠牲に見合うものではなかった。

(句読点も1字として数える。英数字は2字で1マスを用いること)

[2]  
問7の採点

--	--

○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

## 解答紙

(4枚のうち4枚目)

〔3〕 (30点)

問1	A	十二イマーム
	B	シャー
	C	パフレヴィー

問2	ウイグル
----	------

問3	(1)	リユーリク
	(2)	②

問4	漢人
----	----

問5	(1)	スカルノ
	(2)	大コロンビア (大コロンビア共和国)
	(3)	アイヌ

問6	③・⑤・②
----	-------

問7	(1)	アッティラ
	(2)	匈奴

問8	ヘレネス
----	------

問9	(アベ=) シェイエス
----	-------------

〔3〕の採点

--	--